

令和8年2月6日

長浜市議会議長 伊藤 喜久雄 様

提出者 長浜市議会議員

賛成者 長浜市議会議員

中川 勇  
竹本 直隆  
加納 義之  
田中 真浩  
矢野 昭男  
押谷 正春  
中川 リョウ

### 議案の提出について

令和7年長浜市議会定例会令和8年2月特別議会において、長浜市議会  
会議規則第14条第1項の規定により、次の議案を提出します。

### 記

決議案第 / 号

杉本英一副議長に対する辞職勧告決議

杉本英一副議長に対する辞職勧告決議（案）

昨年10月に東京の金属製造企業から市に対して、約14.2億円の損害賠償請求訴訟を提起されたことに関し、杉本英一議員は長浜市議会の副議長の職にありながら、市議会基本条例第8条に規定する、副議長の職務理念である「公平無私の立場で議会を代表するとともに、この条例の趣旨を十分理解し、積極的に施行することに努めなければなりません。」との条項に逸脱する行為が今回露見されました。

その具体的な行為は、当該企業における長浜市内の民有地取得に向けた、長浜市の誘致支援の交渉について、事実と異なる内容の発言を繰り返し、特にインターネット動画番組「びわモニ」での配信は、広範囲に発信されました。

議員全体の代表者である議長は、「公正指導の原則」に基づき、中立公正な立場を堅持して議会運営等に当たらなければならず、副議長は議長を補佐し、議長に事故がある時は副議長の名称で議長の職務を行使することになっています。議長に事故がない時は、一般の議員と同じ地位にありますが、一般の議員と同様の言動をすると、議長の事故により議長の職務を行使した時、信頼と公正を疑われかねないので注意を要し、具体的には不規則発言を連発したり、討論で他会派議員の心証を害するような発言は自粛すべきとされています。

今回の事実と異なる内容の発信は、その後の検証で明らかになり、「びわモニ」側は杉本英一議員と事実確認を行い、1月28日の放送で異なる部分について謝罪し、市議会産業建設常任委員会でも「発言によって多大な労力をかけ、深くお詫びする」と陳謝したと新聞報道されています。

しかし、この事案は、謝罪のみで済む問題ではなく、「びわモニ」からの配信で広範囲にその影響は出ており、産業建設常任委員会での委員発言の通り、企業誘致への影響も大きく、しかも市議会の代表者の一人であることから市民皆さんからは、長浜市議会は何をしているのかとの叱責も、多く頂いています。

改めて、今回の杉本英一副議長の責任は非常に重く、「公正指導の原則」も守られていません。市民皆さんからの市議会への信頼も、大きく損なっています。

ついては、1日も早く正常な議会運営を取り戻すために、杉本英一副議長に対し、決議を行おうとするものです。

令和 8年 2月 6日

長浜市議会